

特徴と使い方

- ▶このテストは、国立・私立中学校受験のための入試準備用総仕上げテストです。
- ▶難易度・出題傾向ともに実際の中学校入試に準拠しています。
- ▶前半6回のA問題(実際の中学入試の半分の分量)と、後半6回のB問題(実際の中学入試と同じ分量)により、段階的に入試の演習をすることが可能です。
- ▶成績推移グラフの作成・領域ごとの得点集計が可能ですから、学力の安定度および弱点領域を正確に把握できます。
- ▶別冊の詳しい解答・解説は、補充問題付きですから、効率的に復習に役立ちます。

カリキュラム

領 域	A1	A2	A3	A4	A5	A6	B1	B2	B3	B4	B5	B6
① 説明的文章			2	2	2		3	3	3	3	3	3
② 文学的文章	2	2				2	2	2	2		2	2
③ 韻文					1	1				2		
④ 漢字・語句・文法	1	1	1	1			1	1 2 3	1	1	1	1
⑤ 資料・作文										4	4	4

実戦トライアル

A 第1回

国語

- 注意：1. この問題用紙は、先生の「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 解答欄は、この用紙の裏面です。答えは、すべてこの解答欄に記入しなさい。
3. 先生の「やめ」の合図があったら、指示に従って解答欄のあるこの用紙だけを提出しなさい。

1 次の問いに答えなさい。

(1) 次の□に漢数字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- ① □ 転□起 ② □ 死□生 ③ □ 苦□苦
④ □ 寒□温 ⑤ □ 者□たく ⑥ □ 差□列

(2) 次の①～⑤の語句はすべて慣用句です。空欄に適切な身体の一部を表すことばをひらがなで書き入れ、その意味として、ふさわしいものをあとの語群から選び、記号で答えなさい。

- ① □ 塩にかける ② □ が滑る^{すべ} ③ □ を巻く
④ □ を落とす ⑤ □ が出る

ア 言うてはいけないことをつい言ってしまふ。

イ 元気をなくし氣力を失ってしまふ。

ウ 驚きあきれ感心して言葉も出ない。

エ 予算を超過^{ちようか}して赤字となる。

オ いろいろ世話をして養育する。

(3) 次の①・②のア～エの中には、種類が異なる語が一つずつ入っています。次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① ア 小さな イ すなおな ウ じょうずな エ 静かな
② ア とても イ ぜび ウ それで エ そつと

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

〈宮沢賢治「谷」より〉

(注) 尋常〓小学校。

はぎぼだし〓キノコの名前。

からげ〓ふさぎ。

(1) **A**、**B** に入ることばとして、最もふさわしいものを次から

選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号は二度以上使えません。

ア だんだん イ どしどし ウ くるくる

(2) **Y** には次のア〓オの文が入ります。意味の通るように正しく並

べ替^かえ、記号で答えなさい。ただし三番目にはアが入ります。

ア 私はすぐ手にもった野ぶどうの房^{ふさ}を捨ていっしんに理助について行きました。

イ 自分だけ勝手にあるいて途方^{とほう}もない声で空でかぶりつくように歌って行きました。

ウ 「そんならついて来い。ぶどうなどもう捨てちまえ。すつかり唇^{くちびる}も歯^{むし}も紫^{むらさ}になつてる。早くついて来い、来い。おくれたら捨てて行くぞ。」

エ ところが理助は連れてってやろうかと言っても一向私などは構わなかったのです。

オ すると理助は歩きながらまた言いました。

(3) 線①「私はなるほどと思いました」とありますが、このときの「私」の気持ちとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 白いキノコは固いから漬^わけ物^{ぶつ}にむいていてということを知って驚^{おどろ}くと同時に、自分はそんな漬^わけ物はやはり食べたくないと思う気持ち。

イ 茶色いキノコをとれというのに、理助は白いキノコをとっているので、本当は白いキノコがおいしいのに自分をだましているのではないかと疑う気持ち。

ウ 自分の家ではキノコは煮て食べるので、固くて筋の多いキノコは煮るのに向かないと言われてその通りだと思いい、疑っていたことを反省する気持ち。

エ 理助にいいキノコをゆずってもらい、申し訳ないとは思うけれど、自分は漬^わけ物にするから固いキノコの方がよいという理助の言葉で自分を納得^{なつとく}させようとする気持ち。

CAMP

2
(5)
20
から。

領域別得点
① 説明的文章
② 文学的文章
/ 35
③ 韻文
④ 漢字・語句・文法
/ 65
⑤ 資料・作文

実戦トライアル

B 第1回

国語

- 注意：1. この問題用紙は、先生の「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 解答欄は、この用紙の裏面です。答えは、すべてこの解答欄に記入しなさい。
3. 先生の「やめ」の合図があったら、指示に従って解答欄のあるこの用紙だけを提出しなさい。

1 次の問いに答えなさい。

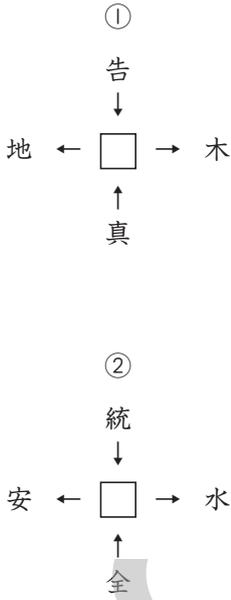
(1) 次の①～③の慣用句の□にあてはまる最もふさわしい語をそれぞれ漢字一字で書いて答えなさい。

- ① 最近の役人の対応は□に余るものがある。
- ② 彼女の司会も□についてきたとほめられた。
- ③ 手□にかけた弟子がついに一人前になった。

(2) 次の①～③のことわざの意味として、最もふさわしいものをあとからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 身から出たさび
 - ② 朱に交れば赤くなる
 - ③ 豆腐にかすがい
- ア 優れた人は優れた人と親しくなること。
 イ 付き合う相手で人は良くも悪くもなること。
 ウ ちっとも手ごたえや効きめのないこと。
 エ 自分の行いが自分自身を苦しめること。
 オ どちらも大きなちがいが見られないこと。

(3) 次の①・②の矢印の方向に読むと熟語が完成するように、□にあてはまる共通の漢字一字をそれぞれ書いて答えなさい。



(4) 次のア～エの中から敬語が正しく使われているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 私のお母さんが先生にお礼を申し上げました。
- イ 兄のおっしゃったことを守ろうと存じます。
- ウ 今日は「生きること」について話そうと思う。
- エ 差し上げた贈り物の返礼を佐藤様が下さった。

(5) 次の文中の——線部は述語ですが、それに対応する主語を文節で書きぬいて答えなさい。なお、主語がない場合は「なし」と書いて答えなさい。

〈やがて山の木々はうっすらと赤や黄色に色づくだろう。〉

(6) 次の文中の——線部は主語ですが、それに対応する述語を文節で書きぬいて答えなさい。なお、述語がない場合は「なし」と書いて答えなさい。

〈雨雲が東へ、西からは青空がひろがった。〉

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

SAMPLE

SAMPLE

(1) 線①～⑤について、ことばの働きの違いによりこの五つの語を分類すると、どのような組み合わせになりますか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- ア (A・B) (C・D) (E)
イ (A・B) (C・E) (D)
ウ (A・B) (D) (C・E)
エ (A・C) (E) (B・D)

(2) 線①「決して自慢さ答えるのだった」とありますが、この部分の説明として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 智樹の母親は、周囲の目を気にしすぎて、智樹の隠れた才能に気づきつつもそれを世間に知られないように慎重しんちょうになっている。

イ 智樹の母親は、智樹の美声に真っ先に気づいていたが、その美声が努力のともなったものではないことに、不満を感じている。

ウ 智樹の母親は、智樹の歌声を何とも思っていない一方で、智樹が世間から高く評価されていることはとてもうれしく思っている。

エ 智樹の母親は、謙遜しながらも、智樹が人並み外れて上手に歌えることを誰よりも晴れがましく思っている。

(3) — 線② 「鈴世は少し警戒した」とありますが、このときの「鈴世」の心情の説明として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 智樹は、去年のキッズフェスタのことを思い出して、私に歌が下手なままでいさせようとしているのではないかと思った。

イ 智樹は、歌がとても上手なので、練習していないという智樹のことははうそではないかと思った。

ウ 智樹は、歌が上手なことで、周囲の人から注目されるのが嫌になり、攻撃的になってしまっているのではないかと思った。

エ 智樹は、歌が下手なのは努力不足のせいだと言って、私を責めようとしているのではないかと思った。

(4) — 線③ 「人間は、雲雀ではない」とありますが、これはどういうことですか。同じことを言い表した部分を本文中から八字で書きぬいて答えなさい。

(5) — 線④ 「それ自体だけでしか肉體なのだった」とありますが、この部分の説明として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分の一部であるのに思うままにはならないもののせいで、友人たちより目だってしまった。

イ 自分の努力によっては向上させることができるものによって、友人たちと差がついてしまった。

ウ 自分に生まれ備わったものについての誤解や偏見によって、友人たちから遠ざけられてしまった。

エ 自分にしかできないことを成し遂げた結果、友人たちからかけ離れた存在となってしまった。

(6) — 線⑤ 「鈴世は必死のく実践せずにはいられなかった」とありますが、このとき「鈴世」をこのような行動に駆り立てたのはどういう思いだったと考えられますか。「という思い。」に続く形で、三十字以上、四十字以内で書いて答えなさい。

(7) にあてはまることを、本文中のことはを使って三字で書いて答えなさい。

(8) — 線⑥ 「鈴世らしく歌えばいいんだよ」とありますが、このときの「智樹」の心情を説明したものと最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 鈴世に気分よく歌ってもらい、少しでも鈴世の歌をまじなものにして、自分が主役を演じるオペレッタを成功させようと意気込んでいる。

イ 鈴世の歌は下手だと思っているが直接言うと傷つけるので、遠回しに言って鈴世に自分の本心を察してほしいと思う自分を嫌悪している。

ウ 周囲と合わず寂しかった自分に鈴世を重ね合わせて、自分らしく歌えば上達するきっかけになるのを鈴世にわかってほしいと思っている。

エ 歌が上手すぎるか下手すぎるかの違いはあるが、智樹も鈴世も孤独であることには変わりなく、寂しさを抱える鈴世に共感している。

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

〔角田光代〕「世界は終わりそうにない」より

(1) 線①～⑤について、かたかなを漢字に直して書きなさい。

(2) 線①「私」を分裂させる」とありますが、どういうことですか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア その人に対する好き嫌いによって自分の態度が変わってしまうとい

うこと。

イ たくさんの自分を演じることによって本当の自分を見失ってしまう
ということ。

ウ そのときどきの状況にに合わせて相反する二つの顔を使い分けると
いうこと。

エ 接する相手などに応じて自分の振る舞い方をさまざまに変化させる
ということ。

(3) — 線② 「他人の顔の使い分けに気づくと、ものすごくいやなものを
見た気になった」とありますが、その理由が述べられている一文をこの
— 線②がふくまれる段落の中からさがし、その最初の五字を書きぬい
て答えなさい。

(4) — 線③ 「その言外の意味を理解した私は消え入りたいほど恥ずかし
かった」とありますが、それはなぜですか。その理由として最もふさわ
しいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分が緊張を隠すために顔を使い分けられていることに気づかれたばか
りか、そうやって顔を使い分けることで男子への好意を示していた自
分を批判されたから。

イ 男子と接する際に緊張していつもと違う顔を見せる自分に気づかれ
たばかりか、その緊張を態度に表すことを男子に媚びていると受け取
られてしまったから。

ウ 顔を使い分けるといふ行為を自分がしていることに気づかれたばかり
りか、男子に気に入られるために顔を使い分けているのだと誤解され
てしまったから。

エ 男子の前では顔の使い分けをしていることに気づかれたばかりか、

自分が同年代の男子とかかわりあうことに慣れていないことを見破ら
れてしまったから。

(5) — 線④ 「顔の使い分けは礼儀でもある」とありますが、筆者がその
ように考えるのはなぜですか。その理由として最もふさわしいものを次
から選び、記号で答えなさい。

ア 社会に出て、年齢を重ねると、人間関係がより複雑になるため、顔
を使い分けることで公私の区別をつけなければ、自分が周囲からの信
頼を失うことになりかねないと思っっているから。

イ 顔の使い分けは社会で生きていく上で必要不可欠なものであるが、
行きすぎた使い分けは相手から思わぬ怒りを買うこともあるため、か
えって失礼にあたると思っっているから。

ウ 顔の使い分けは自分が日常生活を円滑に過ごす上で必要なものであ
るが、その場の雰囲気をごわさず、相手を不快にさせないようにする
気づかいでもあると思っっているから。

エ いつでも本当の自分を相手に見せ続けることは理想ではあるが、顔
を使い分けることで本音が表に出て来ないようにすることも、大人と
して当然なことだと思っっているから。

(6) — 線⑤ 「美容院でいるのかしらん」とありますが、筆者がそのよ
うに思うのはなぜですか。その理由として最もふさわしいものを次から
選び、記号で答えなさい。

ア 一緒に出かける相手や出かけていく場所に応じたお洒落を楽しんだ
らどうかと言っているようでいて、状況にあった服装を間違えずに選
択しなさいと言われているようにも見えるから。

イ 妻と母と女、それぞれの立場に応じた服装をしたらどうかと言って

いるようであり、自分がどの立場を選んだのかということをはつきりと主張できるようになりなさいと言われているようにも見えるから。

ウ 服装を選ぶ時ぐらひは、顔の使い分けをしなくてもよいのではないかと云っているようであり、一緒に出かける相手や出かけていく場所に応じて適切な服装をしなさいと言われているようにも見えるから。

エ 母親ではなく、ひとりの女性としてお洒落を楽しんだらどうかと云っているようであり、妻と母と女というすでに決められた選択肢の中から選りなさいと言われているようにも見えるから。

(7) — 線⑥ 「自主的に言っているのか、それとも、社会的風潮に言わされてるのか、どちらなのだろう」とありますが、どういふことですか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 自ら積極的に母親という役割を捨て去り、ひとりの女性として生きることを選んでいるようであり、そうしていこうという社会の風潮になんとか乗っかっているだけなのではないかということ。

イ 自らの意志でひとりの女性としての自分も大事にする生き方を選び取っているようであり、そうあらねばならないという社会の風潮に生き方を選ばれているのではないかということ。

ウ 自ら判断して母親としてだけでなくひとりの女性として生きることが主張しているようであり、そうあつてはならないという社会の風潮にただ反発しているだけなのではないかということ。

エ 自ら母親になつてもひとりの女性でありたいと意欲的に主張しているようであり、そうすべきであるという社会の風潮に気圧されてやむを得ず嘘をついているのではないかということ。

(8) [A]、 [B] にふさわしいことばを補いなさい。ただし、 [A]

は漢字二字、 [B] は漢字一字で書いて答えなさい。

(9) — 線⑦ 「外界の他者と接するのは、女性が圧倒的に多いのだと思う」とありますが、筆者がそのように思うのはなぜですか。その理由として最もふさわしいものを次から選り、記号で答えなさい。

ア 男性が日常的に接する人は多くの場合、相手との関係性が固定している人たちばかりだという点で真に「外界の他者」とは言えず、むしろ女性が日常的に接している相手の方が、その関係性において多様性に富んでいると言えらるから。

イ 男性の方が、日常的な交友関係を特定の集団内に限定しがちであるという点において、真に「外界の他者」と接しているとは言えず、むしろ女性の方が積極的に「外界」に出て多様な「他者」と接する機会を多く持つようであるから。

ウ 男性の方が、接する相手をえり好みして気の合う人しか付き合わないという点において真に「外界の他者」と接しているとは言えず、むしろ女性の方が子育てや家事の必要性から多様な「他者」と接する機会を多く持つようであるから。

エ 男性が日常的に接している人は多くの場合、自分よりも地位が下の人たちばかりだという点で真に「外界の他者」とは言えず、むしろ女性が日常的に接している相手の方が、その上下関係において多様性に富んでいると言えらるから。

(10) — 線⑧ 「嫌悪というより、恐怖のゆえだろう」とありますが、なぜ「恐怖」だというのですか。その理由として最もふさわしいものを次から選り、記号で答えなさい。

ア 場面に応じて日常的に顔を使い分けているような人物の心の内は、常識的な理解を超えるものであるから。

イ ある人物からまったく正反対の性質があらわれることは、理屈で説明できるようなことではないから。

ウ 楽しげに話しながら飼い犬に暴力をふるうような人物に対しては、寛容な心を持つことはむずかしいから。

エ 表と裏をはっきりと持っている人物と接すると、誰だれの心にも相反する二面性があることを意識させられるから。

(1) — 線⑨ 「私はそのような人物の登場する小説のほうが、好きだ」とありますが、筆者はなぜ「そのような人物の登場する小説」が好きなのですか。「そのような人物」の指し示す内容を明らかにしつつ、一〇〇字以上、一二〇字以内の一文で書いて答えなさい。

(2) この文章を大きく二つに分けると、どの段落から後半がはじまりますか。その段落の最初の五字を書きぬいて答えなさい。

(これで問題は終わりです)

